



2010年3月期 決算説明会資料



2010年5月20日
リンテック株式会社

2010年3月期 連結業績の概要①

	'10/3月期 累計	'09/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位: 百万円)

売上高	189,348	194,901	▲5,553 (▲2.8%)
-----	---------	---------	-------------------

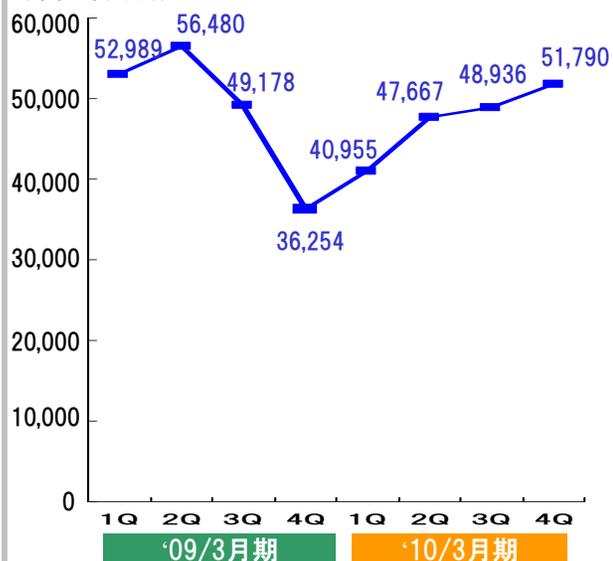
営業利益	11,576	8,498	3,078 (36.2%)
------	--------	-------	------------------

経常利益	11,300	5,654	5,646 (99.8%)
------	--------	-------	------------------

当期 純利益	7,284	3,391	3,893 (114.8%)
-----------	-------	-------	-------------------

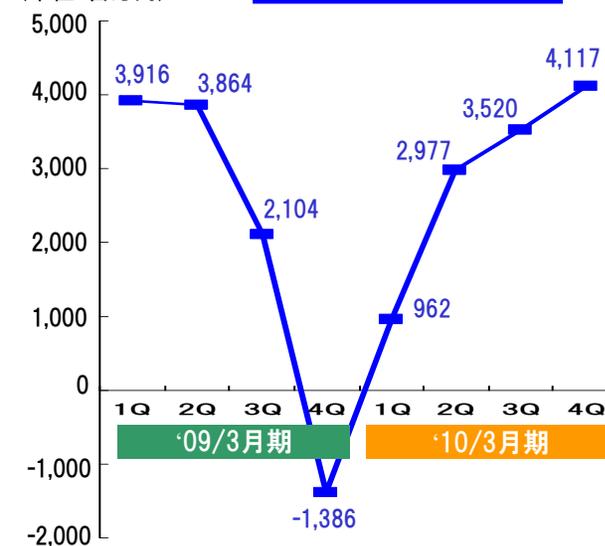
売上高

(単位: 百万円)



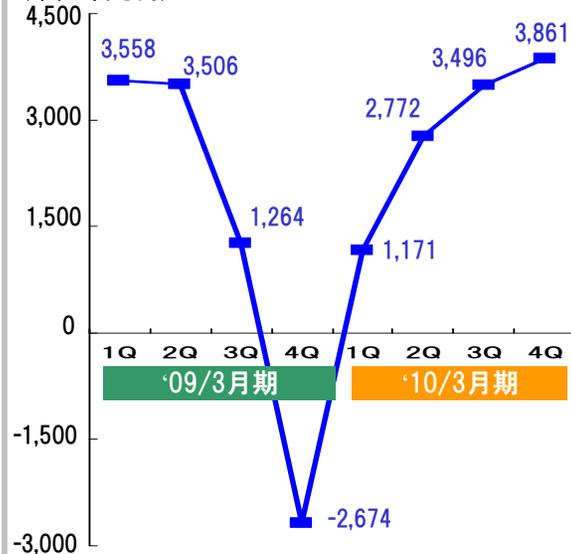
営業利益

(単位: 百万円)



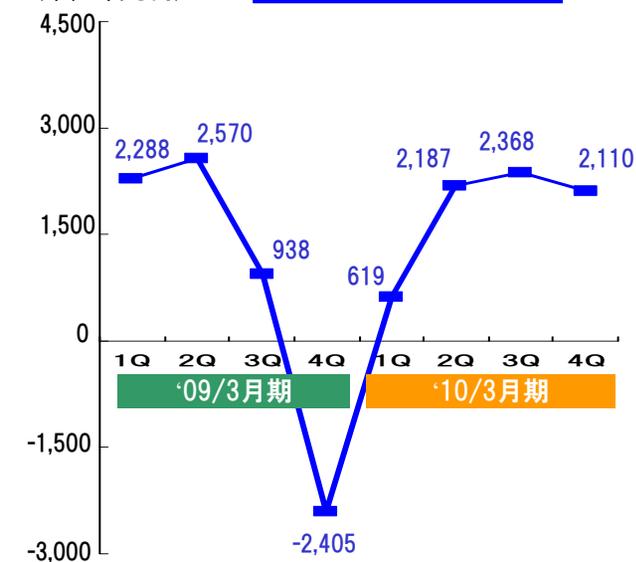
経常利益

(単位: 百万円)



当期純利益

(単位: 百万円)



2010年3月期 連結業績の概要②

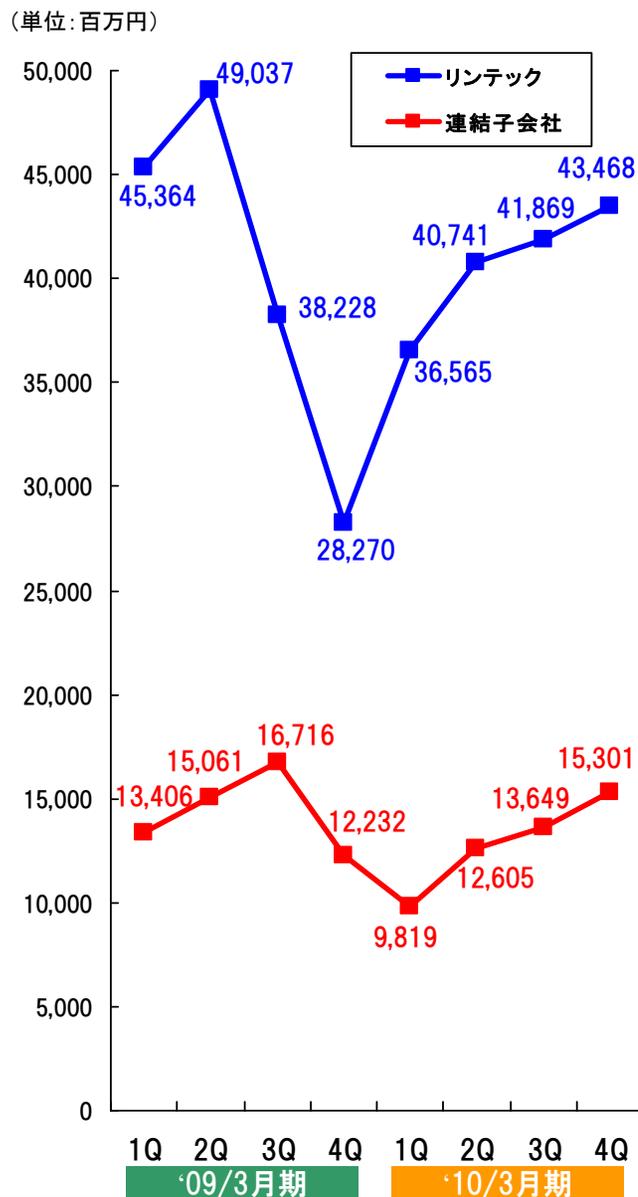
売上高

	'10/3月期 累計	'09/3月期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
リンテック	162,643	160,899	1,744 (1.1%)
連結子会社	51,374	57,415	▲6,041 (▲10.5%)
消去	▲24,669	▲23,413	▲1,256
計	189,348	194,901	▲5,553 (▲2.8%)

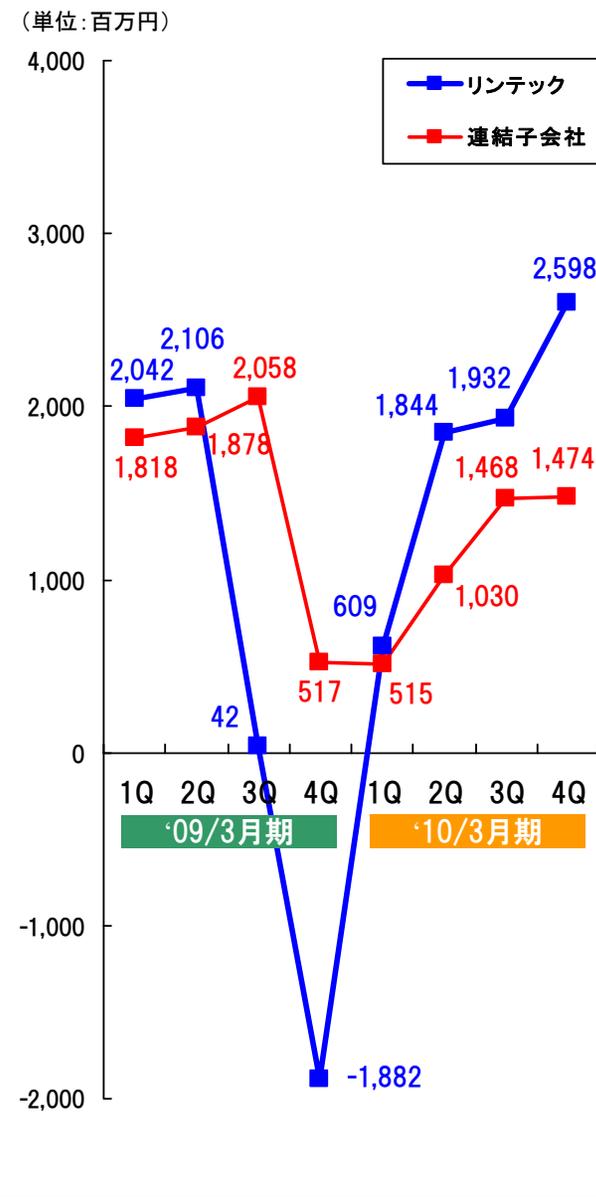
営業利益

	'10/3月期 累計	'09/3月期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
リンテック	6,983	2,308	4,675 (202.4%)
連結子会社	4,487	6,271	▲1,784 (▲28.4%)
消去	106	▲81	187
計	11,576	8,498	3,078 (36.2%)

売上高



営業利益



➤ 売上高

● リンテック単体

液晶関連粘着製品が大きく伸長、全体としては緩やかな回復基調で推移
引き続き厳しい経営環境にあり、僅かな増収にとどまる

● 連結子会社

海外子会社の第1四半期が景気最悪期の1月～3月に該当したことにより大幅な減収
円高による海外連結子会社売上高の円貨換算後の減少額 約63億円

➤ 営業利益

● リンテック単体

(増益要因)

生産部門での原価低減効果とパルプや燃料価格の
下落 約49億円
固定費の圧縮効果 約25億円
コスト削減効果 合計 約74億円

(減益要因)

販売数量の減少および売上構成変化などによる影響 約16億円
前期末製品評価額の上昇による影響 約19億円

● 連結子会社

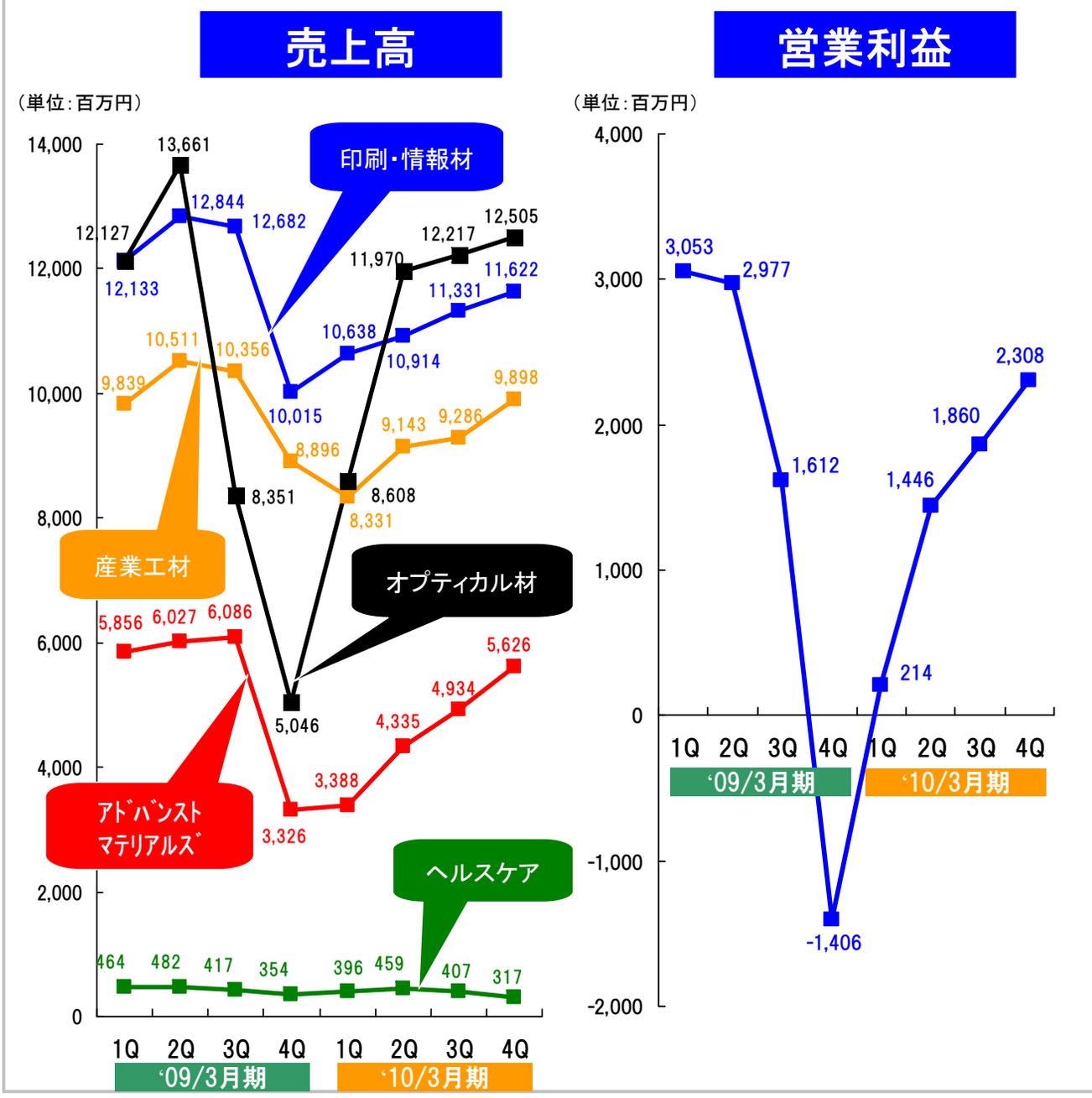
海外子会社の売り上げが昨年1月～3月に大きく落ち
込んだことなどによる影響 約10億円
円高による海外連結子会社利益の円貨換算後の減少額 約8億円

【期中平均為替レート(実績)】

	('09/3)		('10/3)
円/US\$	102.81	→	93.72
円/WON	0.0952	→	0.0738
円/中国元	14.85	→	13.70
円/台湾\$	3.27	→	2.83

2010年3月期 粘着関連事業の概要①

	'10/3月期 累計	'09/3月期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
印刷・情報材 事業部門	44,505	47,676	▲3,171 (▲6.7%)
産業工材 事業部門	36,658	39,600	▲2,942 (▲7.4%)
ヘルスケア 事業部門	1,579	1,717	▲138 (▲8.0%)
オプティカル材 事業部門	45,300	39,185	6,115 (15.6%)
アドバンス マテリアルズ 事業部門	18,282	21,295	▲3,013 (▲14.1%)
売上高 合計	146,324	149,473	▲3,149 (▲2.1%)
営業利益	5,828	6,236	▲408 (▲6.5%)



➤ 印刷・情報材事業部門

国内外において自動車、家電用などのラベル素材が回復基調。
全体としては、需要の戻りは緩やか。

➤ 産業工材事業部門

リンテックサインシステムを連結対象としたことによる増加。自動車関連粘着製品にも回復の兆し。
ウインドーフィルムやマーキングフィルムなどが低調に推移。
太陽電池用バックシート：ドルベースでは2桁伸長も円高の影響受け前期比2%増の6.2億円。

➤ ヘルスケア事業部門

新製品の販売がスタートするも、他の製品の落ち込みをカバーするまでには至らず。

➤ オプティカル材事業部門

液晶テレビ、スマートフォン用などの需要増加が販売数量を押し上げ、国内外で大きく伸長。

➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着製品：昨年春先以降回復も、海外販売子会社が昨年1月～3月低迷。
半導体関連装置：半導体メーカーの設備投資抑制を受け大幅減。

➤ 営業利益

コスト削減効果があったものの、売上高の減少などが影響し、前期に比べ減益。

2010年3月期 紙関連事業の概要①

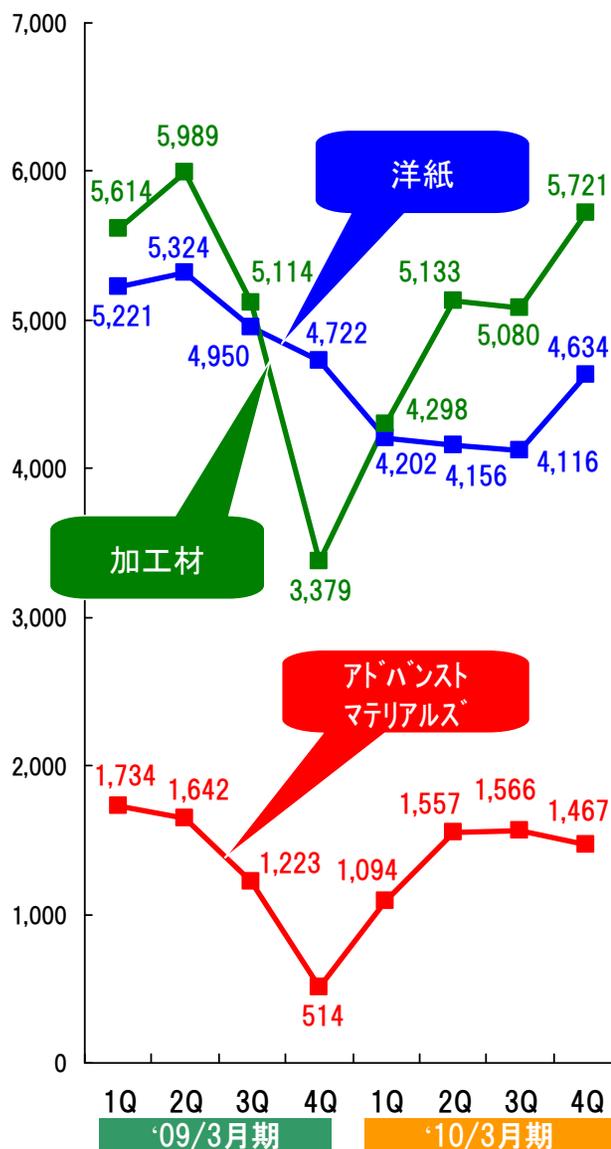
	'10/3月期 累計	'09/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	5,683	5,114	569 (11.1%)
洋紙 事業部門	17,108	20,217	▲3,109 (▲15.4%)
加工材 事業部門	20,232	20,096	136 (0.7%)
売上高 合計	43,023	45,427	▲2,404 (▲5.3%)
営業利益	5,746	2,262	3,484 (154.0%)

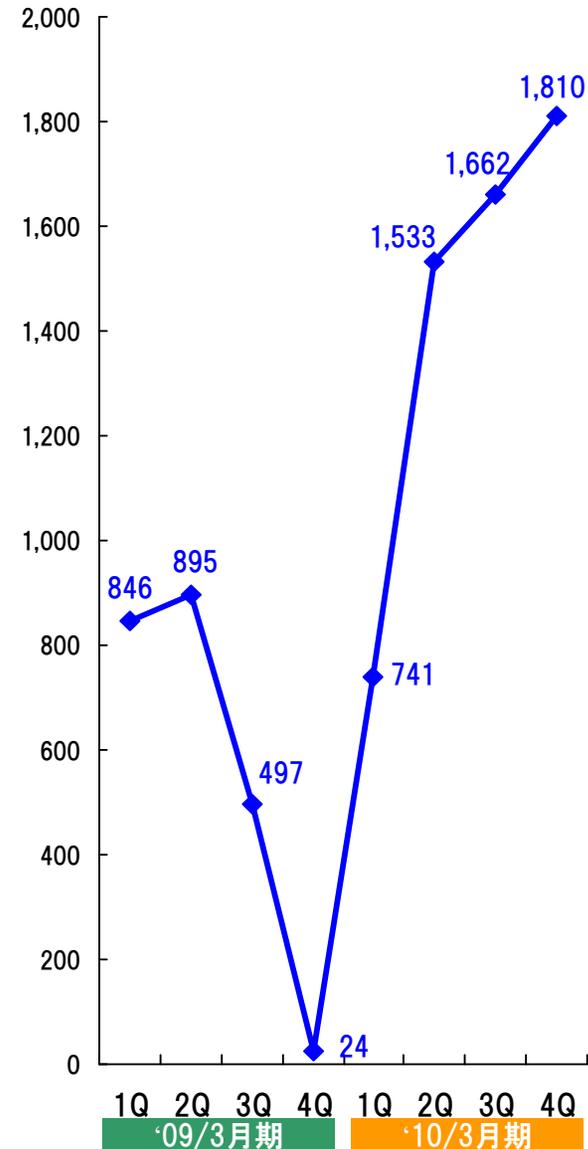
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

積層セラミックコンデンサー用：昨年春先以降、国内外において回復し、前期比2桁伸長。
コートフィルム

➤ 洋紙事業部門

景気低迷の影響を受け、主力の封筒用紙や建材、工業用関連製品の需要が落ち込む。

➤ 加工材事業部門

光学関連用途の剥離フィルム、電子部品製造用途の剥離紙、合成皮革用工程紙が順調に回復。

➤ 営業利益

洋紙の販売数量が大きく落ち込むも、パルプや燃料価格の値下がり、コスト削減効果があり
前期に比べ大幅な増益。

2011年3月期 連結業績の見通し①

'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減	増減率
----------------	---------------	----	-----

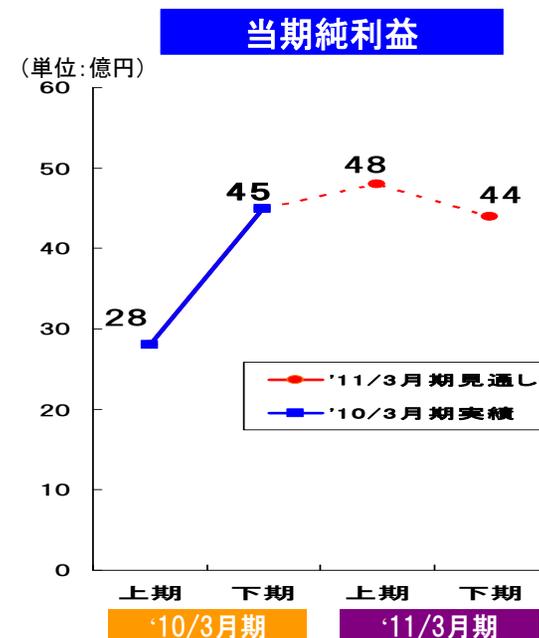
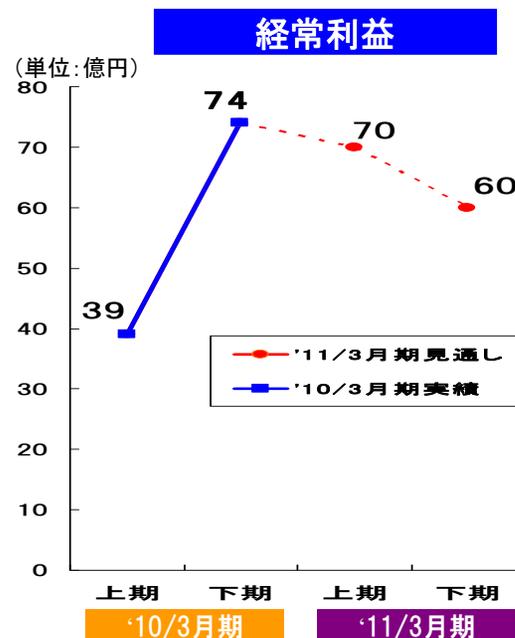
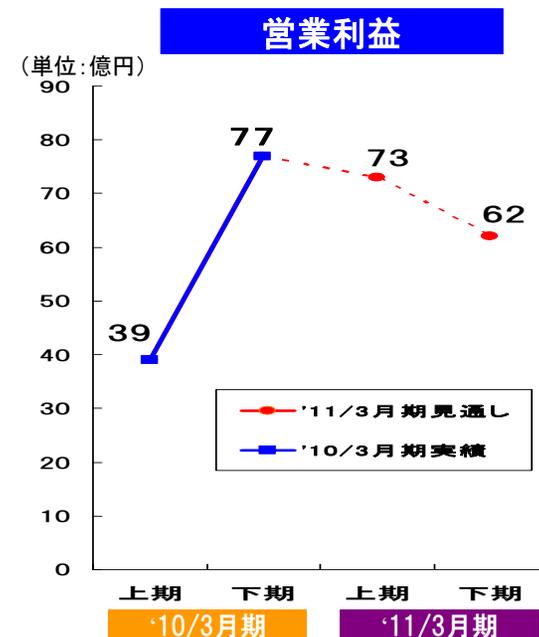
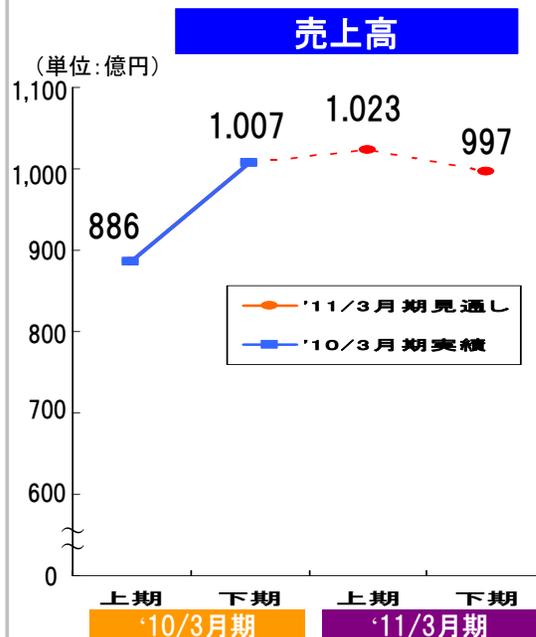
(単位:億円)

売上高	2,020	1,893	127	6.7%
-----	-------	-------	-----	------

営業利益	135	116	19	16.6%
------	-----	-----	----	-------

経常利益	130	113	17	15.0%
------	-----	-----	----	-------

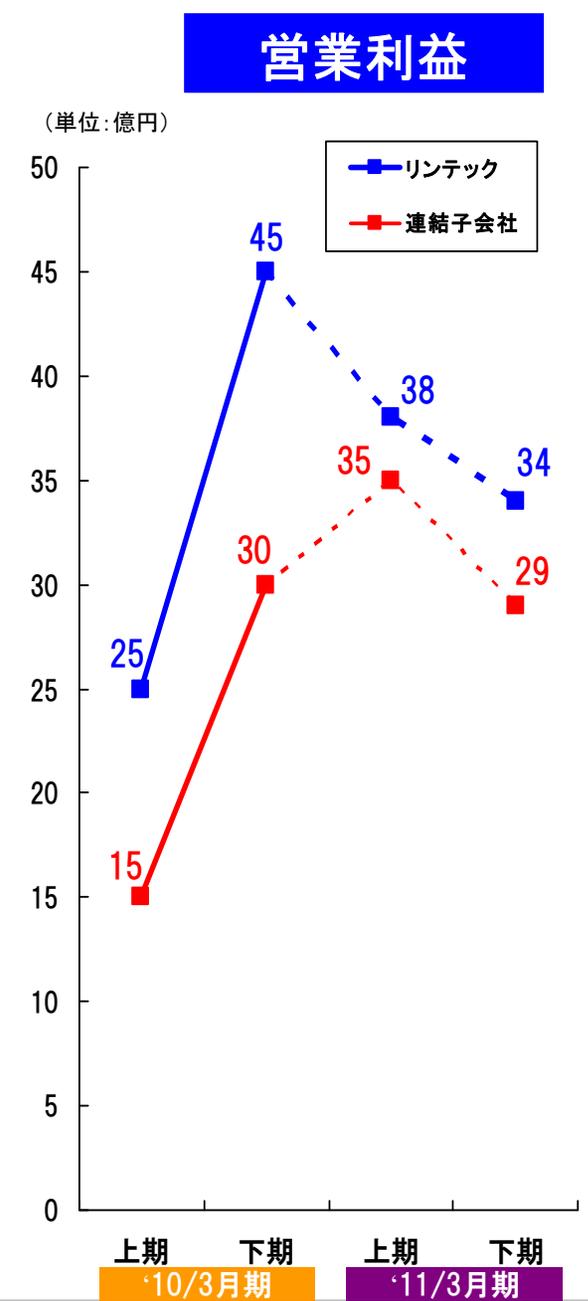
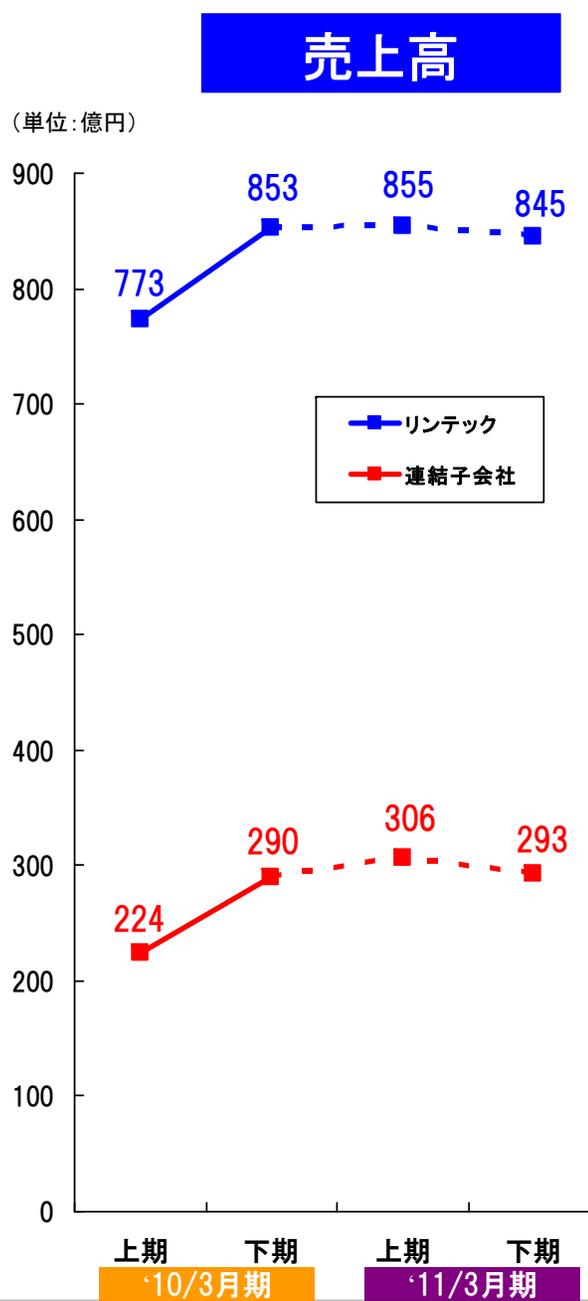
当期 純利益	92	73	19	26.3%
-----------	----	----	----	-------



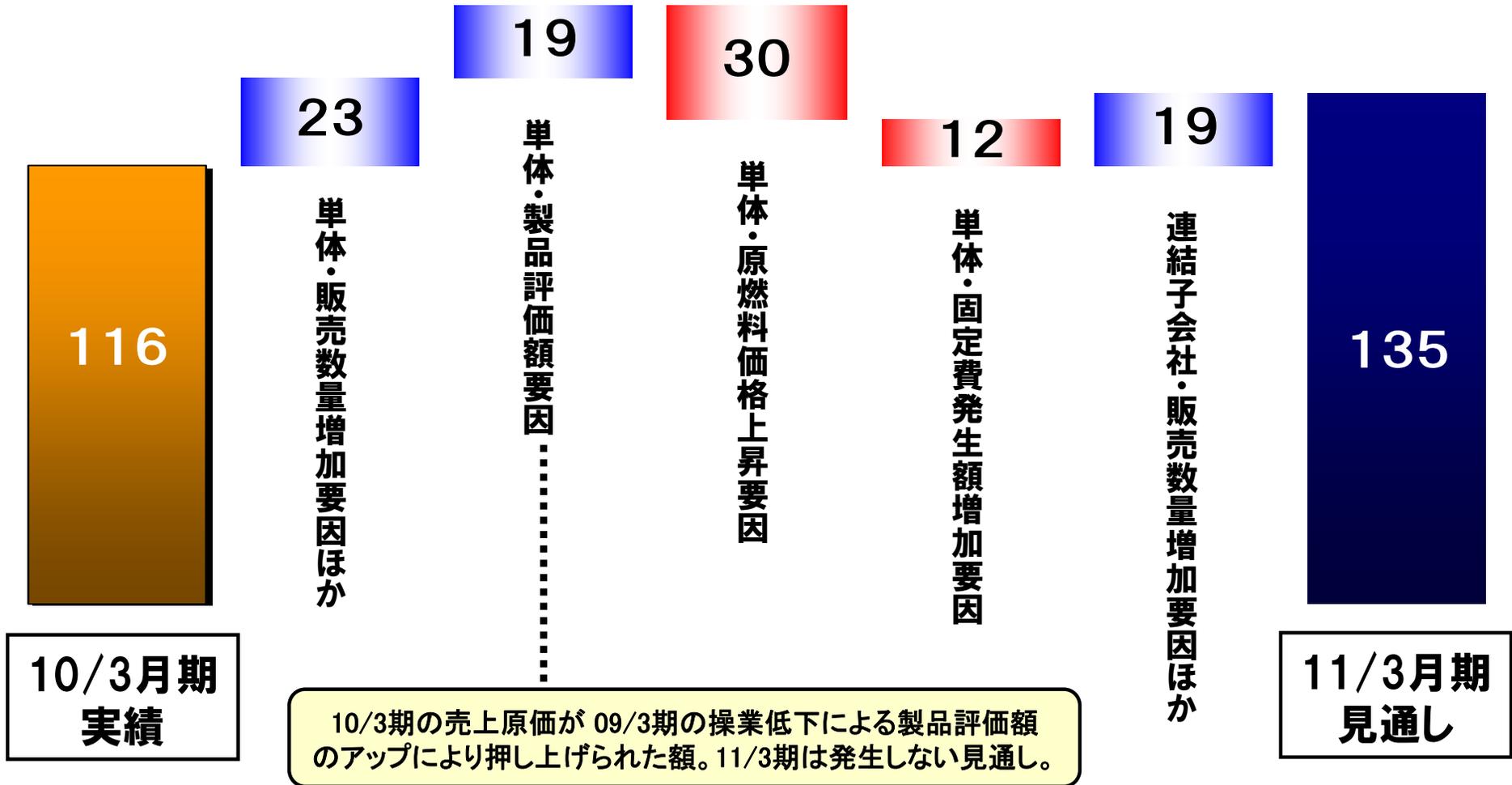
2011年3月期 連結業績の見通し②

	'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減 (増減率)
売上高 (単位: 億円)			
リンテック	1,700	1,626	74 (4.6%)
連結子会社	599	514	85 (16.5%)
消去	▲279	▲247	▲32
計	2,020	1,893	127 (6.7%)

	'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減 (増減率)
営業利益 (単位: 億円)			
リンテック	72	70	2 (2.9%)
連結子会社	64	45	19 (42.2%)
消去	▲1	1	▲2
計	135	116	19 (16.6%)



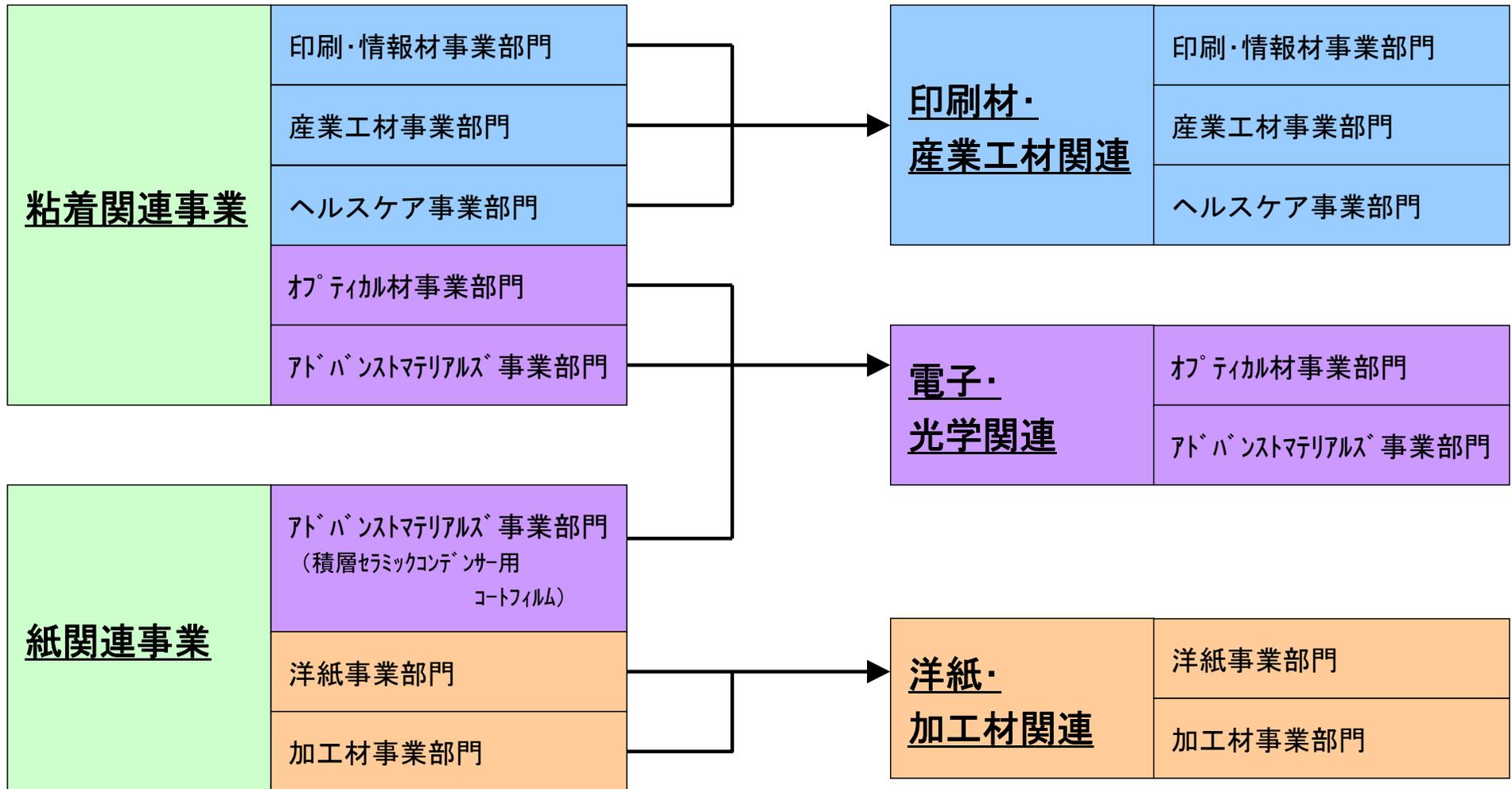
営業利益見通しの主な増減要因



2011年3月期 開示セグメントの見直しについて

【2010年3月期まで】

【2011年3月期より】



2011年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

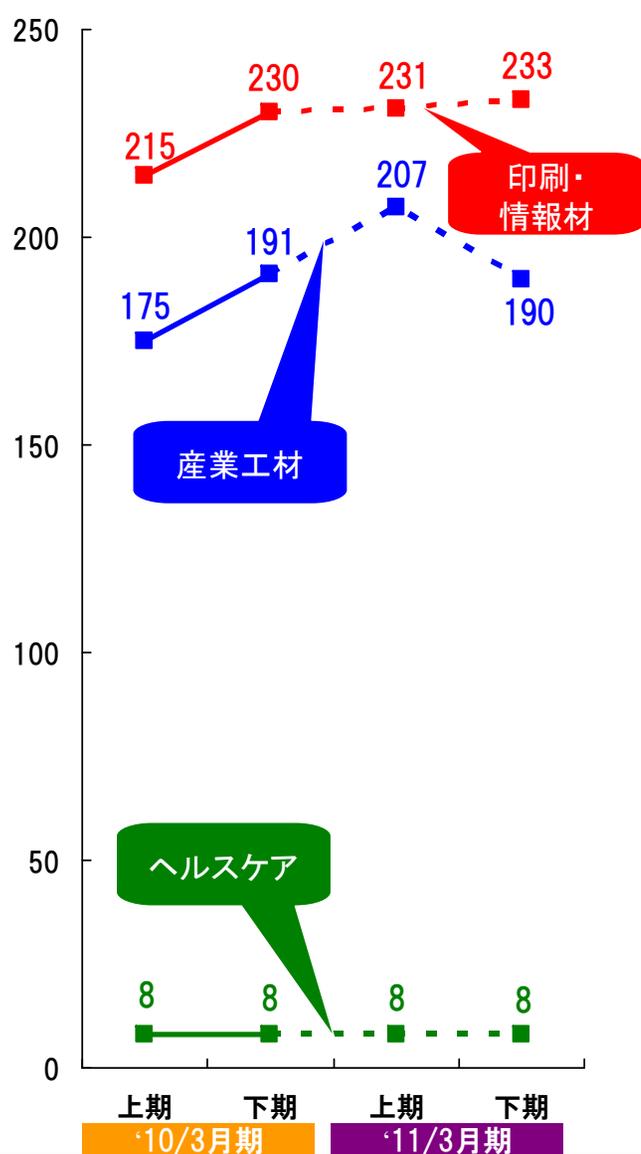
(単位:億円)

印刷・情報材 事業部門	464	445	19 (4.3%)
産業工材 事業部門	397	366	31 (8.5%)
ヘルスケア 事業部門	16	16	0 (0.0%)
売上高 合計	877	827	50 (6.0%)
営業利益	60	41*	— (—)

※'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。

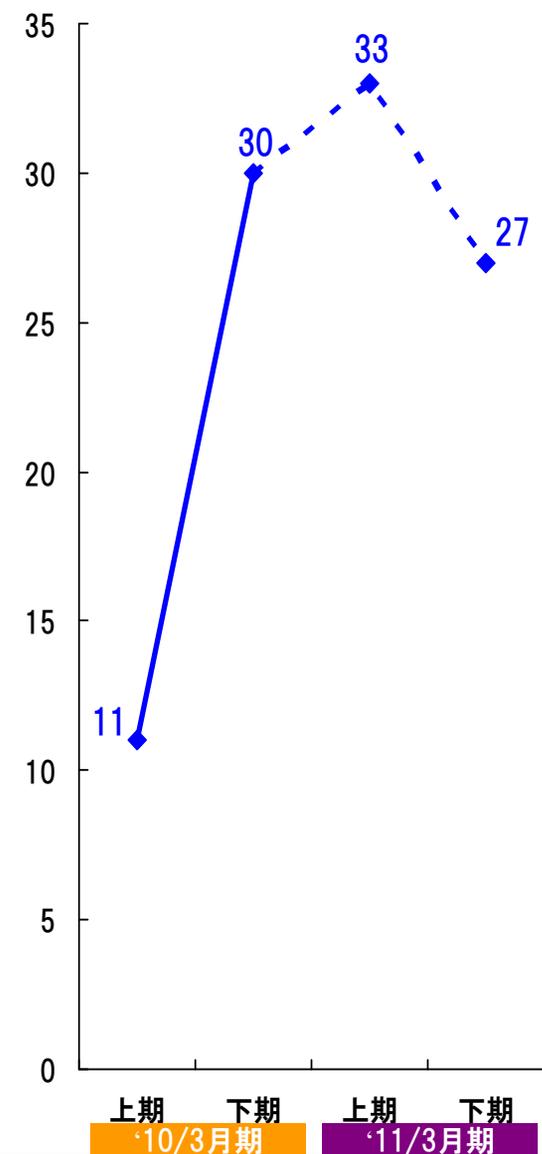
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



➤ 印刷・情報材事業部門

国内は、前期下期の回復基調で推移。
海外は、東南アジアや中国を中心に堅調に推移。

➤ 産業工材事業部門

太陽電池用バックシート：前期比約15億円増の77億円。優位性を生かしシェアのアップを図る。
自動車関連粘着製品：新興国市場で需要の増加、日米での回復を期待。

➤ ヘルスケア事業部門

新製品の開発に注力するも、まだまだ未知数。

2011年3月期 電子・光学関連の見通し①

	'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

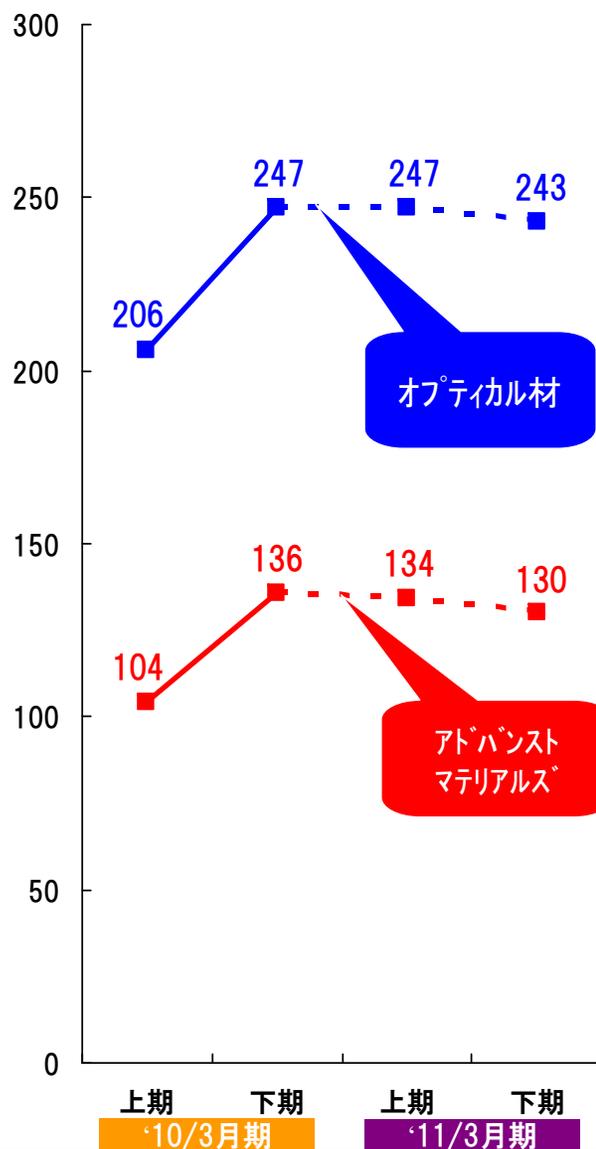
(単位:億円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	264	240	24 (10.0%)
光学材料 事業部門	490	453	37 (8.2%)
売上高 合計	754	693	61 (8.8%)
営業利益	29	15*	— (—)

※'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。

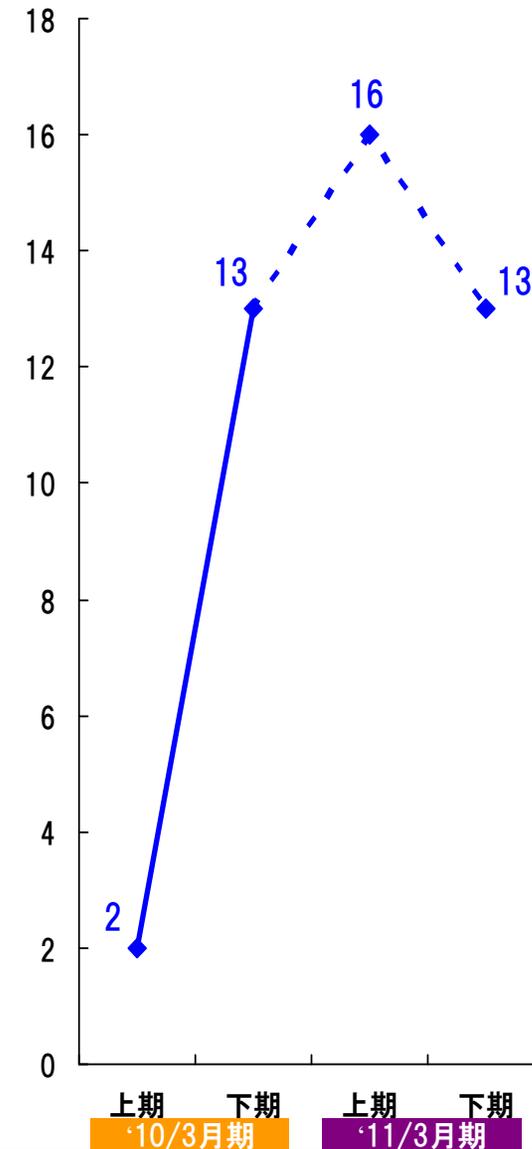
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着製品および関連装置ともに回復基調が継続し、2桁以上の伸長。
積層セラミックコンデンサー用コートフィルムも好調を維持。

➤ オプティカル材事業部門

テレビ用を中心に需要拡大。国内外で前期並みの好調が継続。

2011年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	'11/3月期 見通し	'10/3月期 実績	増減 (増減率)
--	----------------	---------------	-------------

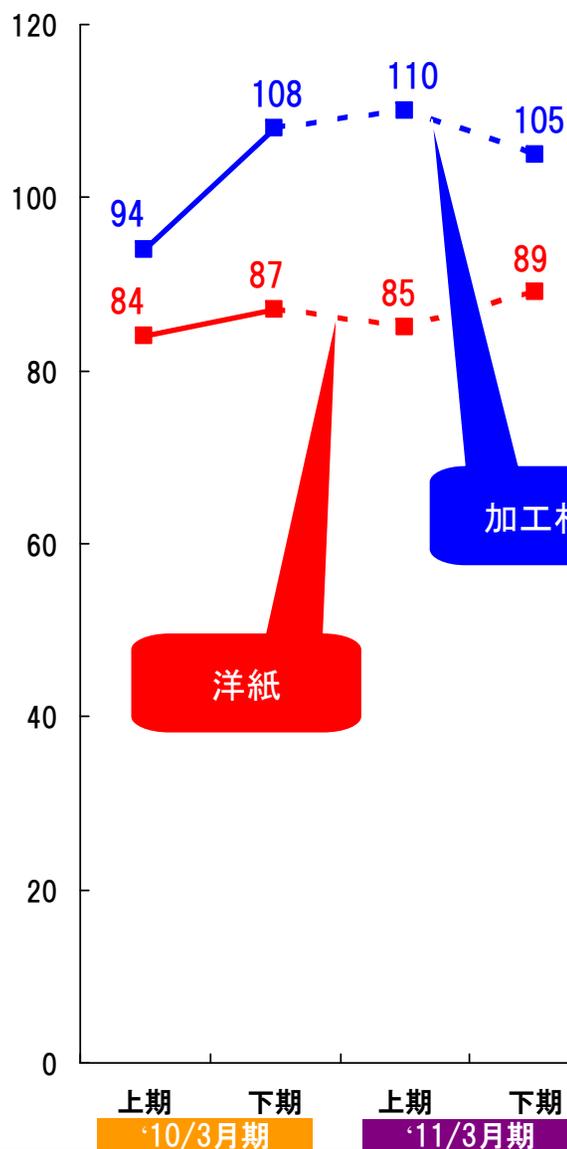
(単位:億円)

洋紙 事業部門	174	171	3 (1.8%)
加工材 事業部門	215	202	13 (6.4%)
売上高 合計	389	373	16 (4.3%)
営業利益	46	59*	— (—)

※'10/3月期の営業利益は、旧セグメント基準から按分した参考値を記載しております。

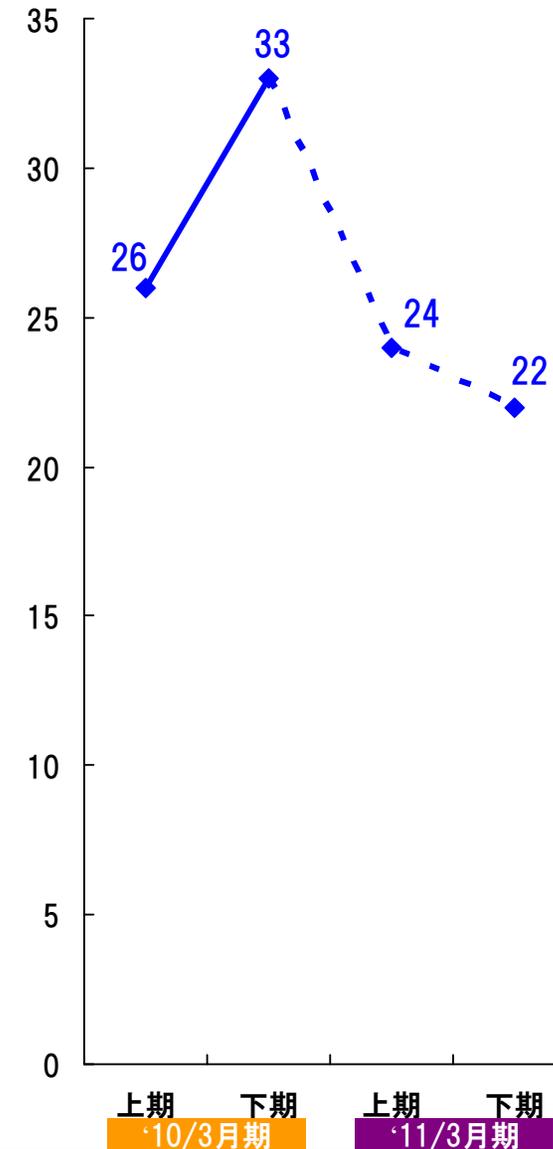
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



➤ 洋紙事業部門

特殊機能紙に回復の兆しがあり、拡販に注力。
カラー封筒用紙、未だ本格的な需要回復は見込めず。

➤ 加工材事業部門

光学関連用途の剥離フィルム、電子部品製造用途の剥離紙が堅調に推移。

単年度の経営指針に基づき、三つの重点課題とその諸施策を推進

【指 針】

成長戦略を視野に入れた土台づくりに主眼をおいた
「次なる飛躍への足固めの年」

【重点課題】

- ①収益基盤の強化
- ②業務改革の推進
- ③次なる成長への布石

重点課題① 収益基盤の強化

【主な施策】

- コスト削減活動の継続・推進
 - 固定費の削減
 - グループS C Mの最適化
 - 製造原価低減への取り組み強化
- 新生産設備の導入と統廃合

重点課題② 業務改革の推進

【主な施策】

●情報基盤の整備

- ・ 経営のスピードアップ
- ・ 業務の標準化・効率化

●生産部門の現場改革活動の推進

重点課題③ 次なる成長への布石

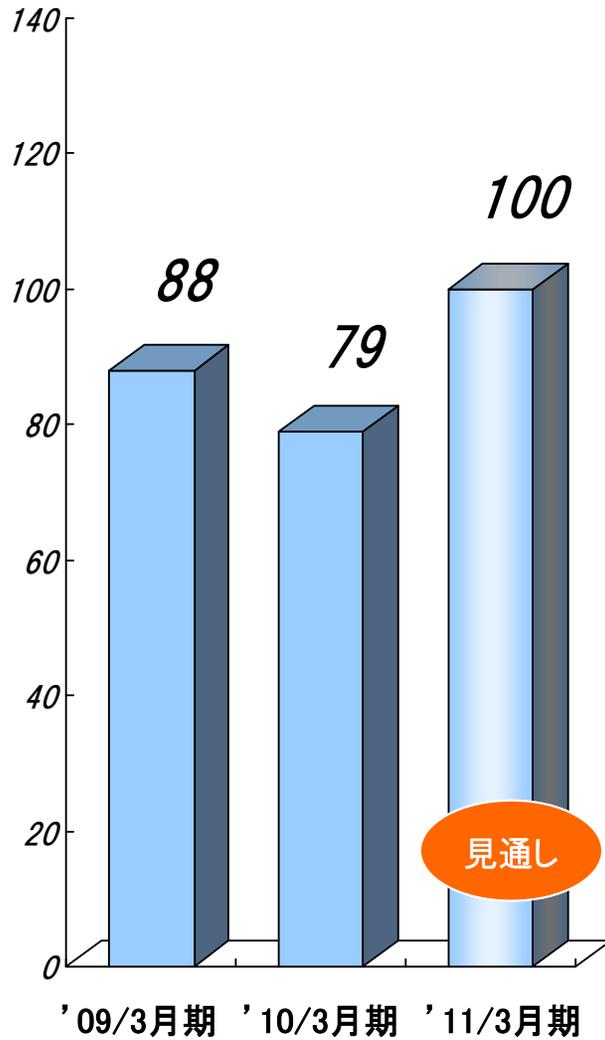
【主な施策】

- アジア地域における成長戦略の構築
- 成長領域へのR&D集中投資
- M&A戦略の強化
- 全事業部門の連携・強化による市場の開拓と深耕
- 会社の成長を牽引するための人材戦略と育成

2011年3月期 設備投資額・減価償却費・研究開発費の概要および見通し

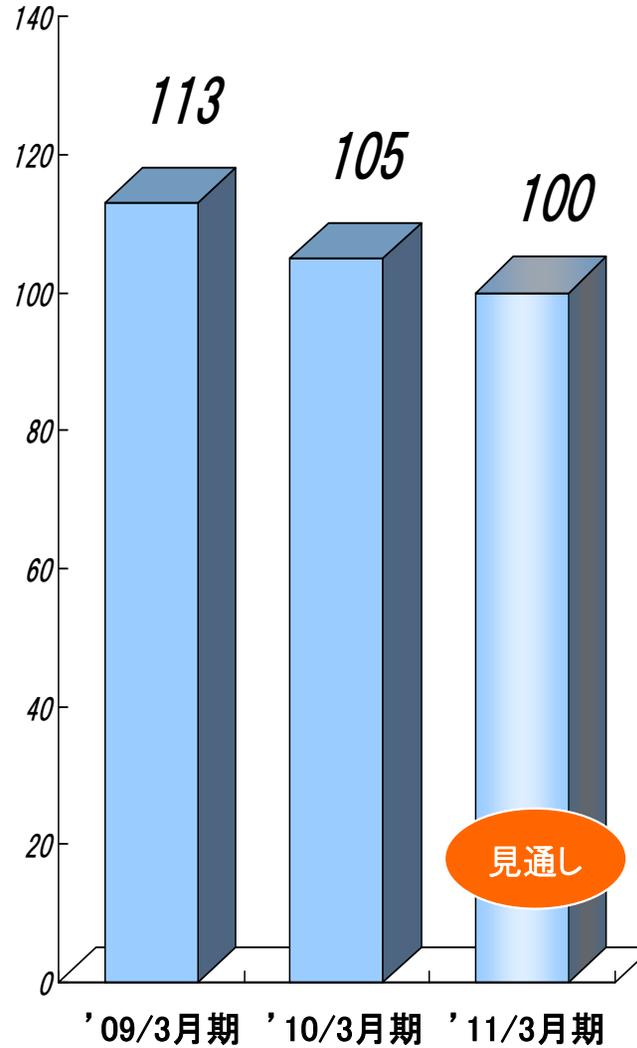
設備投資額

(単位: 億円)



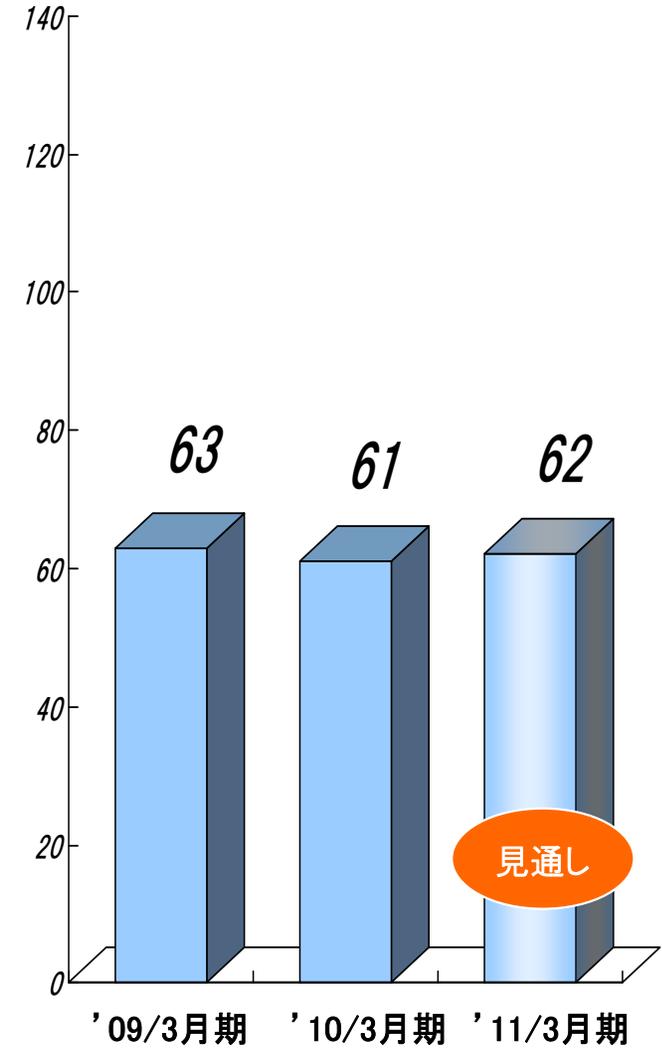
減価償却費

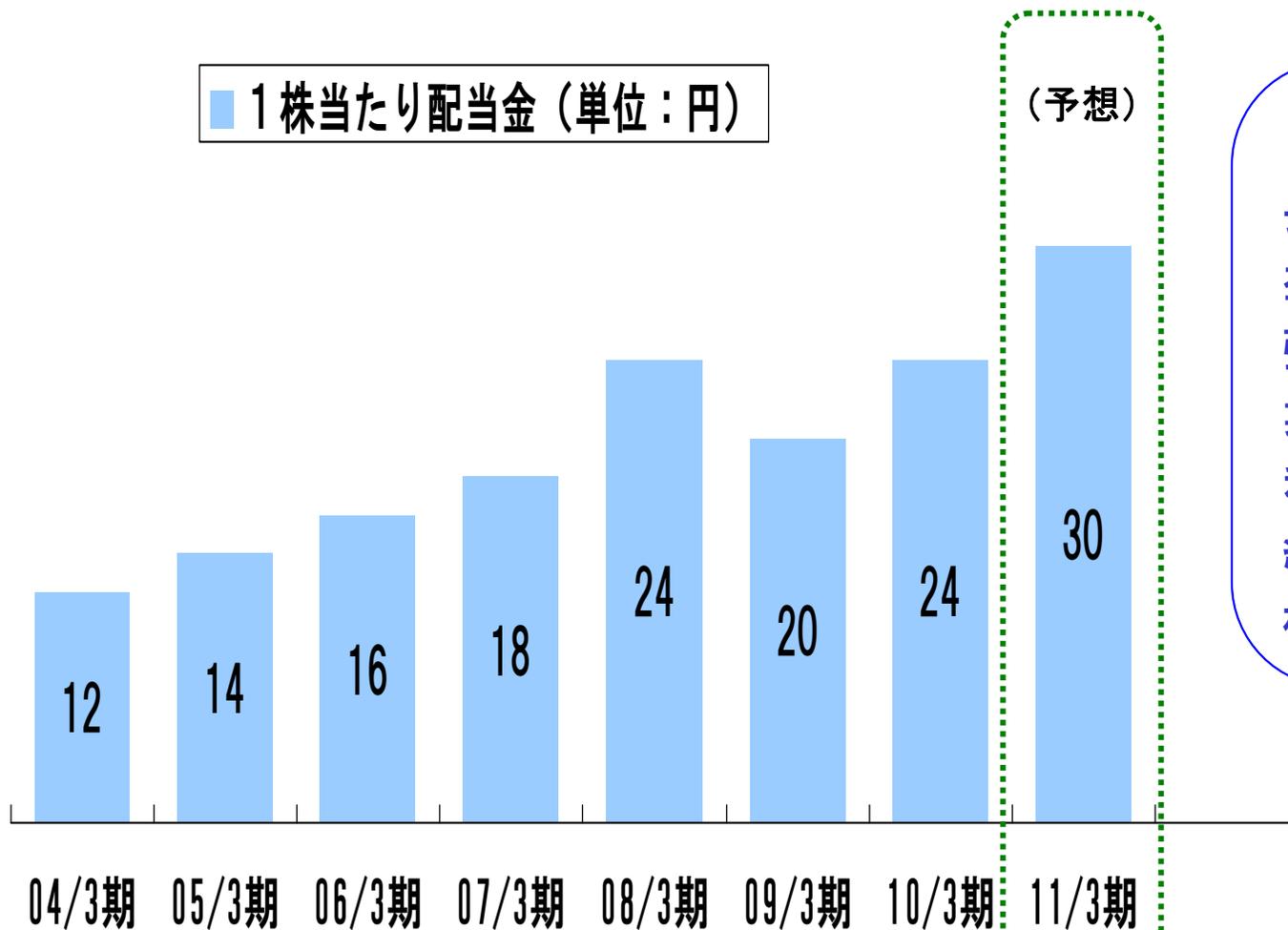
(単位: 億円)



研究開発費

(単位: 億円)





(基本方針)

長期的視野に立った事業収益の拡大並びに財務体質の強化を図るとともに、連結業績を考慮した配当を実施。利益還元の指標として、連結配当性向20%程度を目標とする。

当期純利益(億円)	33.9	72.8	92.0
1株当たり当期純利益(円)	44.87	96.36	121.70
連結配当性向(%)	44.6	24.9	24.7

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。